

第2章 目黒区の特徴、観光の現況と課題

～ 歴史と文化の香るおしゃれなまち 目黒 ～

1 目黒区の特徴

目黒区は、都心に近く、「緑豊かで文化的なまち」、「おしゃれなまち」というイメージが定着しています。交通利便性が高く、歴史・文化の香る、住宅地と商業地の調和のとれたまちです。

(1) 交通利便性の高いまち

目黒区は都心から約10km圏内で、JR山手線渋谷・恵比寿・目黒の各駅に近接する利便性の高い位置にあります。また、区の中心部を東急東横線が縦断し、目黒通り、駒沢通り、山手通り、環七通り、玉川通り（国道246号）等の幹線道路が走るなど交通機能が充実しています。

近年では、東急東横線と地下鉄副都心線の相互直通運転が開始され、区内各駅の乗降客数が増加傾向（平成24年度と平成25年度との対比）にあります。また、区内の山手通りが拡幅される予定もあり、今後更に区内の交通の利便性が充実されます。



(2) 歴史・文化の香るまち

目黒区には、著名な建築家による名建築である目黒区総合庁舎（旧千代田生命本社ビル）、寺社や旧前田家本邸などの重要文化財、由緒ある坂道など、歴史的な資源が多くあります。

また、子どもから大人まで楽しめるユニークなワークショップを実施している目黒区美術館や文化ホール、日本民藝館などの文化施設及び東京大学や東京工業大学をはじめとしたさまざまな文教施設があり、多くの人々が歴史や文化に楽しく触れることのできる地域性を持っています。

さらに、民間レベルの国際交流活動が活発に行なわれており、大使館が多いのも特徴の一つです。



目黒区総合庁舎（村野藤吾建築意匠）



旧前田家本邸 洋館（重要文化財）



めぐろパーシモンホール



目黒区美術館でのワークショップ



目黒区美術館



日本民藝館

(3) 住宅地と商業地の調和のとれたまち

目黒川、呑川による谷地と目黒台と呼ばれる台地が織り成す起伏に富んだ地形上に、優れた住環境の街並みが広がっています。特に、東横線沿線は、さまざまなランキング調査で「住んでみたいまち」として、都内でも人気の高い地域です。中目黒・自由が丘駅周辺や、目黒通り・駒沢通り沿道など「おしゃれなまち」として知名度の高い広域商業地も有しています。

また、犯罪発生件数が比較的少ない安全なまちです。



中目黒駅周辺の風景



自由が丘の緑道の風景



おしゃれな店舗が並ぶ目黒川沿い



自由が丘 ラ・ヴィータ
ベネチアを再現した商業施設



落ち着いた住宅街の中にある
めぐろパーシモンホール



目黒駅前の目黒通り（権之助坂）